

開催日時

平成 28 年 10 月 20 日（木）14 時 30 分～16 時 30 分

開催場所

茂原市役所 5 階 504 会議室

出席者

委員 10 名（欠席 2 名）
事務局 5 名
委託業者 3 名

会議次第

- 1、開会
- 2、委員長あいさつ
- 3、報告
 - ・茂原市公共施設等総合管理計画について
- 4、議事
 - ・公共施設の適正配置に関する第 1 次アクションプランについて

【1. 開会】

【2. 委員長あいさつ】

【3. 報告】

事務局 完成した茂原市総合管理計画について報告し、修正部分の説明を行った。

【4. 議事】

事務局 「公共施設の適正配置に関する第 1 次アクションプランについて」の資料及び、学校再編審議会、公立保育所・幼稚園整備計画について説明を行った。

委員長 総合管理計画の具体的な実施計画にあたるアクションプランは現在どの程度検討しているのか。

事務局 7 月の段階からもう少し詰めた内容にしたかったが、次年度から始まる行財政改革の業務と重なり、各課に対して十分なヒアリングができなかった。

学校教育系施設、子育て支援施設、公営住宅についてはヒアリングができているので具体的に先が見えており、これらについては本日の説明のようなアクションプランになる。それ以外についても 11 の施設類型があるので、類型別にどのように維持管理をいれていくか課題である。

学校教育系施設、子育て支援施設、公営住宅については平成 29 年度予算の新規事業として入っている。それ以外は最初の 5 年間でどのような考え方で取り組んでいくか記載したのがあり、類型別に示していきたい。施設を無くすばかりでいいのかという議論もある。

基本的には学校教育系施設、子育て支援施設、公営住宅を柱にした第一次ア

副委員長	<p>アクションプランになる。</p> <p>アクションプランは本体頁の3頁のものと同じか。一般的な計画に例えると、総合管理計画は管理のための基本計画で、アクションプランは実施計画という位置づけがある。基本計画に対して実施計画になると思うが計画の位置づけがよくわからない。</p> <p>計画が5年間となっているが、10月に作成されるので実質は4年半の第一次であって、トータル14年程度の計画になる。計画を作成し翌年から実施することが都市計画では多いので気になった。</p> <p>基本計画に対して実施計画は5年の中の財政的な裏付けを与えていく、具体化させていくことが必要になるため、そこに総合管理基本計画は具体的な計画が必要である。具体的に書かないと実施計画ベースのアクションプランにならない。例えば計画をマネジメントする担当課が成績表を配って事業評価し、達成できていなければペナルティを与えるぐらいの考えを持っていても良いのでは。</p>
事務局	<p>総合管理計画は本納複合施設の最適化事業債の関係で予定を早め、平成28年度中に作成した。また、公立保育所・幼稚園整備計画が先行して策定しており、平成32年4月を目指したスケジュールと具体的にいつ実施するかを記載することが示されているが、小中学校については平成29年度の上半期までで計画はできるが、どの中学校や小学校をいつどうするかを、第一次アクションプランで示すことは難しいと考えられる。</p> <p>公共施設を13%減らす目標に対し、1校あたり中学校については約6,000㎡、小学校については約3,000㎡と、施設面積の大きい学校教育系施設を減らしていかないと達成できない。実際には各課との協議と住民説明の中で進めていくことを考えている。</p> <p>給食調理場は平成32年4月に新しいセンターを開設すると同時に古い調理所は解体し、東郷小、五郷小、鶴枝小の給食調理室を廃止していくところまでは見えている。</p>
副委員長	<p>アイデアベースだが、アクションプランで1次を作っているのであれば、色がついているのは1次だけでいい。このセクションは計画管理をするセクションなので施設名は書かなくても良いのではないかな。あくまでマネジメントすることが重要で、例えば分野別の中で削減目標の数値だけを決めて記し、各セクションの取り組みを報告させる中で、何ができたかできないかを評価する仕組みを入れないといけない。そうしなければ計画のマネジメントにならない。面積だけでも類型別に記しておくことが計画の管理としてペナルティになる。管理側にも緊張感と責任をもってマネジメントしないとけない。</p> <p>計画を15年間で立てて13%削減と決まっているので、1次、2次、3次でどのくらいずつ減らすのか。1次で3%削減できていればいいが、5%削減できていればなお良い、もし1次が2%しか削減できなかった場合は、2次か3次で取り返すというのがプランニングのマネジメントになる。1次は目標の1.2倍の掛け率で高めの目標設定にするのか、または最初はハードルを下げ、頑張らせてプラス評価をしていくのか。マネージャー側が管理をしないと、各セッションは現実的などころだけを見つめているので達成は難しくな</p>

<p>事務局 副委員長</p>	<p>ってくる。 1次アクションプランの計画目標の指標としては目標面積で良いか。 直近5年間で何をやろうとしているのか、1次アクションプランで書かれていることが大事である。</p>
<p>委員</p>	<p>自分は、この委員会に出席しているので、学校再編計画審議会の話にすんなりと入ることができた。30年前から人口は減ってきたが、茂原市は何もしてこなかった。もともと子供の人口は減ってきていたのに、学校を新設したり、学区の見直しなどをしてこなかった。他の自治体はドラスティックに廃止を行っているが、茂原市はようやく動きだした。学校の面積が大きく維持管理費もかかり、地域に与える影響も大きい。方針を固めるのは3月末の予定だが、具体的にどの小学校を対象とするかは4月以降に決めていくことになっている。茂原市も他自治体にならってもっとドラスティックに行わないといけない。 今回の計画においても少々ぼんやりしている。例えば学校で二つの学校を一つの学校に統合することは地元説明など大変なことだが、計画の中で明確に位置づけることは大切だと考えている。具体的な話になったときに様々な意見が出てくると思う。 小規模校だとメリットもあるがデメリットも大きい。教育は公平に学ぶチャンスを与える必要があり、例えば小規模校で部活動の種類も減ってしまうと、選択肢が大規模校に比べて少なくなる。ソフトランディングで考えているかもしれないが、ハードランディングも想定していかないといけない。 私は色々な情報をもっているなのでその場で考えるが、教育委員会で数字的なことは出てこない。ここの会で出した方がいい。</p>
<p>事務局</p>	<p>公共施設と総合管理計画は財政面を念頭においた計画である。小中の再編は教育面での視点も考えていかなければいけない。財政面でみた数値と実際の教育現場では立ち位置が違う。教育委員会で方針が決まっていな中で、国の要請など決まっていることもあるので、総合管理計画に具体的な学校を位置づけていくことは難しい。昨年12月に国から指針が出たため、それを受けて動きだしている。管理は自治体レベルなので、独自のやり方になってくる。他市は財政の理由でドラスティックにやらないといけないが、茂原市の規模になるとまた違う。</p>
<p>委員</p>	<p>人口の推移をみて20年後の計画で成り立っていると思うが、数字を見て決めることはできているのか。検討委員会の中では統廃合のアイデアを出していると思うが、それは計画に挙げずに教育委員会に任せるのか。</p>
<p>事務局 委員長</p>	<p>学校の統廃合は学区の見直しや道路の状況を見て決める。この先の人口推移をみていくので、連携することしかできず、強い意見は言えない。 教育委員会も教育の観点だけで見ると手詰まりになる。施設の老朽化などハードの状況から何とかしないとけない。財政的な状況で維持できるのかを示しながら、こちらからアドバイスをして連携していくことは考えられる。文科省で学校の個別計画をつくることを指示している。耐震化補助でお金を使ってしまっている状況で学校規模の適正化や適正配置の再編をしているところに優先的に補助している。茂原市もやらなければならない。 視点としては小中一貫、学区の再編等も考慮し、地域の複合化、長寿命化、</p>

	<p>それに対してどのように茂原市として答えていくか、審議会の次のステップになると思うが、前向きに検討していただきたい。</p> <p>施設の老朽化など物理的なことも踏まえていかないと、教育の理念だけでは前に進まない。</p>
事務局	<p>学校再編や統廃合について、これまで議論したことがなかった。昨年、公共施設の問題が行政の仕事として大きく前面に出た。庁内委員会で定期的に会議はしている。計画作成とアクションプランの作成段階で情報共有と説得段階。今後は跡地利用もでてくるので1つの課だけでは達成できないので、庁内委員会と検討会議を活用して情報共有していく。</p>
委員	<p>小中学校再編については、教育部門で決めてもらわないといけない。</p> <p>先ほどの副委員長の話に共感した。13%削減が目標であれば、15%削減を目標として13%削減は最低限クリアするようにした方が良い。数値だけ与えて、あとは現場で考えてもらった方がより現実的である。</p>
委員長	<p>学校や市民文化施設など担当を課で割り振れるのか。そうすれば課同士で取引も可能になり、数字もはっきりしてやりやすいのではないか。</p>
委員	<p>複合化すれば優先的に実施したり、一緒に行くなどしてモチベーションが保てる。</p>
事務局	<p>計画の内容やワークショップの結果等も審議委員に共有すべきではないか。討論していく中で出た数値など学校の状況を市民が理解していかないといけない。</p> <p>幼保と小学校はセットで考えないといけない。学校の12名の審議委員がここでの情報を認識しているかは、個人がHPで確認しているかどうかなのでわからない。市の内部では共有している。ワークショップでのご提案はいい刺激になっている。</p>
委員	<p>市民体育館の活用など議論に時間がかかるところもあるが、出来る限り反映の必要はあると考えている。</p>
委員	<p>審議会資料をみると、築年数等の公共施設の数値的な資料はなく、生徒数、再編計画の概要等しか情報が入っていない。</p> <p>最終的に3月に最終案を作るが、そこまで公共施設についての話は出なかった。</p>
副委員長	<p>教育委員会なので教育を豊かにすることを目的にした組織。第3回目になると資料として出てくるかもしれない。</p>
委員長	<p>審議会の資料に全体のプランというのは示されているが、ハード系の話は入っていない。教員数、生徒数、適正バランスなど、効率性は学校運営の話に限られている。ハコは教育委員会で行われていることになっている。</p>
委員	<p>他自治体には公共施設の視点を入れているところもある。学校が老朽化しており、予算がない中で建て替えもしなくてはならない。審議会の中で時間を割いていただき、建て替えのプランなど現実のところも見極めて考えていただく。</p>
委員	<p>教育の方針によってもハードのあり方も変わってくる。ソフト面でしか考えていないのが残念。</p> <p>茂原市としてどのような教育をしていきたいのか、それに対してハードもどうしていかなくてはならないのかを一緒に考えていかないといけない。</p>

委員	<p>これまで質の高い議論をしてきたが、最終的に学校等の問題を踏まえて教育委員会は案を作っていく。今回の資料は今後地元住民や関係団体に説明に行く際に、市民を説得するいい材料になる。子供のためだけではなく地域の環境にもつながることを数値化できている。</p>
委員	<p>数値で示したものを持って教育委員会と一体となって行っていくべきだ。市民アンケートを見たときに総論は賛成。各論にはいったときに資料が市民を説得する材料になればいい。数字的なもので示すことによって重要さを表す。</p>
委員	<p>小中学校の削減面積は期待していない。茂原市は適正規模でない小学校が8校あり、どれだけそれを改善するかはまだ取り組んでいない。15%削減は目標として持っていないといけないということは承知した。</p>
委員	<p>確認だが、これまでワークショップを行った中で3万㎡を減らすためのプランは、想定できたのか。</p>
事務局	<p>ワークショップで検討いただいた再編モデル案では、削減率14.6%である。今後、目標に向けて取り組んでいきたいと思う。</p>

以上